

トークイベント

これからの創造のためのプラットフォーム

パブリック スペース

公民館、図書館、大学、カフェ。それぞれが担う「パブリック」の役割と可能性について、現場で実践を重ねているゲストを迎え、話し合います。

2020年 **2月24日** (月・祝)

18:30-20:30 入場無料, 予約不要

会場：みんなの森 ぎふメディアコスモス
かんがえるスタジオ

トークイベント「パブリックとスペース」

2020年2月24日(月・祝)

18:30-20:30

スピーカー

甲斐 賢治 (かい けんじ)

せんだいメディアテーク アーティスティック・ディレクター

大阪生まれ。主に地方行政の文化施策に従事しアートやメディアにまつわる複数のNPOに所属。「個人がメディアを活用し、自ら、環境を作り出す力の創出」や、「地域文化の地産地消サイクルの起動」を目指し、社会活動としてのアート、メディア実践に取り組んできた。

2010年より、せんだいメディアテークに所属。2011年、東日本大震災を受け市民参加・協働型の「3がつ11にちをわすれないためにセンター」や「考えるテーブル」などを展開。2011年度芸術選奨・芸術振興部門文部科学大臣新人賞受賞。

宮城 潤 (みやぎ じゅん)

那覇市若狭公民館館長(指定管理者NPO法人地域サポートわかさ) / パーラー公民館用務員

2001年NPO法人前島アートセンターの設立に参画(初代理事長、2011年解散)。2006年に社会教育指導員として那覇市若狭公民館に勤め、職名変更を経ながら若狭公民館勤務14年目。その間全国公民館連合会主催の全国公民館ホームページコンクール、館報コンクール、インターネット活用コンクールにおいて、最優秀賞6回、優秀賞2回、優良賞1回受賞。「第70回優良公民館表彰」(文部科学省)において、最優秀館に選ばれる。現在、文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員も務めている。

前林 明次 (まえばやし あきつぐ)

情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 教授 / アーティスト

身体と環境のインターフェイスとして「音」をとらえ、人と場所との関わりへの想像力を喚起する作品制作を行っている。また2014年から、現代における「創造性」を幅広く考察するレクチャー・シリーズ「これからの創造のためのプラットフォーム」を開催している。これまでの作品・展示には《Sonic Interface》(1999-)、《Container for dreaming》(2011)、《OKINAWA NOISE MAP》(2016)、《場所をつくる旅》(岐阜県美術館, 2017) などがある。

モデレーター

安岐 理加 (あきりか)

美術家 / てしまのまど代表

土地と人の関係性を見つめ、立体作品、写真、映像、などを媒体に表現活動を行い、国内外の展覧会に参加する。2012年より瀬戸内海の豊島にて「てしまのまど」を設立し、オーラスヒストリーの収集と記録、アートプロジェクトの実施を中心とした活動を開始。2013年には荒畑を開墾、スペース開室。以降、展覧会、ワークショップ、トークショー等を開催する傍らカフェを運営し毎日パンを焼く。2014年に「インタビュー資料集豊島益踊り音頭」発行。2016年、展覧会「その島のこと」を企画。2019年度IAMAS在学中。



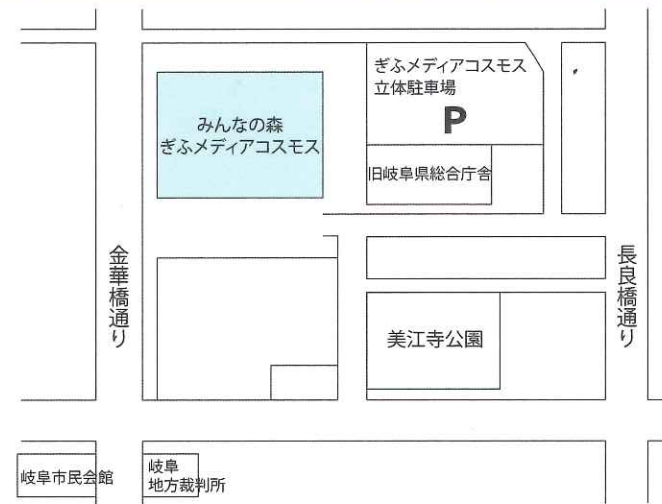
[これからの創造のためのプラットフォーム]

<http://sozoplatform.org/>

情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] を拠点にレクチャーを開催しています。アート、デザイン、思想、暮らし等の様々な領域の実践者の知見に触れながら現代社会の課題を考察し、思考の可動域を広げ、これからの時代の「創造」のあり方を探っていきます。

主催：これからの創造のためのプラットフォーム

お問い合わせ：sozoplatform@gmail.com



会場：みんなの森 ぎふメディアコスモス
かんがえるスタジオ

500 8076 岐阜市司町40-5

tel 058 265 4101

<https://g-mediacosmos.jp>